

# 「佐々木さんからのご便りです！」

めくるめく連日の末に、はや2014年も明けました。皆さまお元気にお過ごしのことと思います。

当方、大分院内の地に引っ越して8ヶ月が過ぎました。暖かい（暑い）間は家の修理や、見よう見まねの野菜づくりなどでアツという間に過ぎましたが、気がつくと12月、新年と寒さ厳しい真冬まただ中という状況です。まさに田舎暮らしは冬が正念場です。改めて周りを見てみると、地元の人が「高並（地区名）谷」というように、小高い山林からわずかばかりの民家や田畑を経て、雑木に覆われた谷川までゆるやかなV字谷を形成しています。秋口に薪ストーブを設置していて大正解でした。

さてその後の生活ですが、職安には通いましたが新たな職にはつきませんでした。まず60歳の厳しいハードルは地方の小都市では想像以上のものがあるようです（3人称をお許しあれ！）。当面はこのまま、ゆっくり求職を続けることにしています。

退職後の大きな変化の一つに、新聞をやめたことがあります。引越し後一度も新聞の勧誘がありませんでした。あわせて我が家の経済合理性と一致したのが大きな理由ですが、慣れると実生活には何の影響もないことが分かりました。もしかするといまいる自分の足元からあらたな世間（社会）が見えてくるかもしれません（時々日にちの過ぎた「古聞」を読みます）。「平家物語朗読会」や、「英会話教室（雑談会）」などにも顔を出していますが、それらも私の小さな社会の窓（Windows）になっています。

在職中には想像もしなかったことの毎日ですが（当然か！）、これからもそんな毎日の連続だと思います。新幹線は365日毎日休まず走り続けます。その社会的な貢献度とは次元があまりに違いすぎますが、もしかするとそんな多次元構造が、私たち社会の本物の姿なのかもしれません。それぞれの位置で精いっぱい頑張ります。



\* 1月12日 新幹線地本『旗開き』目黒さつき会館にて13時から開催されます。